



町立三春病院ニュース



●● 第2回みはる病院まつり開催 (11月21日) ●●

深秋の三春町。空が高くなるこの季節に「第2回みはる病院まつり」を開催しました。当日は、朝は秋空が広がっていたものの、少しずつ太陽を雲が隠し始め、お昼頃には小雨が降ってくる、少し肌寒い空模様となりました。

それでも『八幡町太鼓保存会』の威勢のよい太鼓演奏の見事なバチさばきに感激し、『松蔚流舞扇会』の華麗な舞にはみなでウツトリとして、大いに盛り上がるお祭りとなりました。

当日は、バザーを行い品定めのお客様であふれ、フランクフルトや、とん汁の食欲をそそるいい匂いがただよう中、童心に返ってスーパーボールすくいや輪投げコーナーなどが人気を集めました。

また、開催月は糖尿病月間でもあったため、健康チェックを行い、来場された方々に糖尿病の予防知識を知ってもらおうと、専門の検査技師や管理栄養士が食事指導を行い、健康についてのアドバイスをしました。

～ 第2回みはる病院まつりの様子 ～



スーパーボールすくい



松蔚流舞扇会の皆さんの舞



八幡町太鼓保存会の皆さん



パワーリハビリ体験



日本糖尿病療養指導士によるアドバイス

かつさい教授の 家庭医療だより



三春町のみなさん、お元気ですか。★新年あけましておめでとうございます。みなさんにとって本年が健康に恵まれた幸せな一年となりますようお祈りします。★みなさんが今年の抱負など未来に向かってものと考えているときに恐縮ですが、昨年をちょっと振り返って見ます。昨年春に村上春樹さんが小説「1Q84」を出版してものすごい勢いでベストセラーになりました。お読みになった方も結構いるのではないのでしょうか。かなりボリュームがある小説がこんなに売れるというのも珍しいことです。★村上春樹さんについては、以前から気になっていた作家でもあり、私もさっそく読んでみました。そして、ただ読むだけでなく、彼の今までの作品の流れとそこで表現される社会と若者の変化について家庭医療の面から考えさせられることが多くあったので、昨年暮れに香港大学に招かれた時にそのようなテーマで講演をしてきました。★村上春樹さんの小説は世界のかなり多くの言語に翻訳されていて、香港でも英語訳や中国語訳で彼の小説を読んだことのある人やファンも多く、講演に続くディスカッションでは大いに盛り上がりました。★私がこの講演で話したことのひとつは、自分や家族が病気になったときに若い人たちがどのように苦しみ、どのようにその苦しみを他の人に伝えるか、ということです。なかなか世代を超えて病気の辛さを語ることは難しいかもしれません。使う言葉が違うかもしれません。でもまずはお互いに耳を傾けることから始まるはず。ぜひ試してみてください。

【福島県立医科大学医学部 地域・家庭医療部 教授 葛西龍樹】